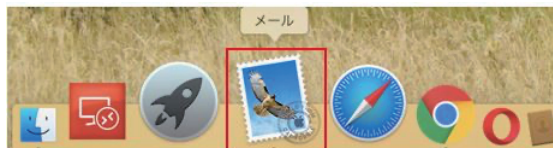


# Mail [Apple Mac OS]の設定

本ガイドは、バージョンHigh Sierraのメール設定手順に沿ってのご案内となります。

## アカウントの新規設定

### STEP1 Dockより[メール]を選択



### STEP2 メールアカウントの設定

[メールアカウントのプロバイダを選択]の画面にて[その他のメールアカウント]にチェックし[続ける]ボタンをクリックします。



※既に別のメールアドレスが登録されている場合には、メニューから[メール]を選択し、[アカウントを追加]を選択すると、[メールアカウントのプロバイダを選択]の画面が表示されます。



### STEP3 情報入力

メールアドレスなどを入力する画面が表示されますので、入力して[サインイン]をクリックします。

名前	受信者側に表示される名称
メールアドレス	設定するメールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード

### STEP4 メールサーバー情報入力

#### POP接続される場合の設定

メールサーバーなどを入力する画面が表示されますので、入力して[サインイン]をクリックします。

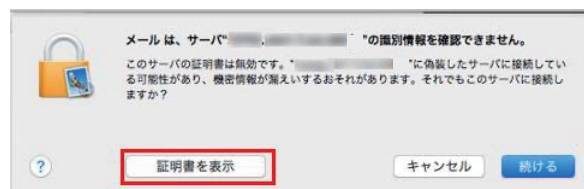
IMAP接続される場合はP6へ。

メールアドレス	設定するメールアドレス
ユーザー名	メールアドレスを入力
パスワード	メールアドレスのパスワード
アカウントの種類	POPを選択
受信用メールサーバ	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net
送信用メールサーバ	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net

## 証明書の警告が表示された場合

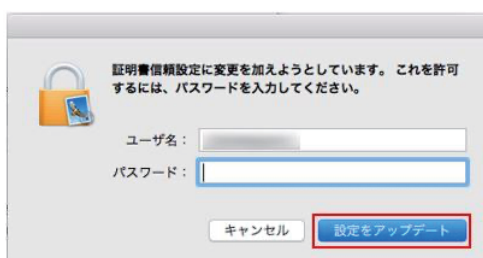
[サインイン]をクリック後に警告が表示された場合には、以下の手順をお試しください。

[証明書を表示]をクリックし、メールサーバ名を常に信頼する項目をチェックし[続ける]ボタンをクリックします。

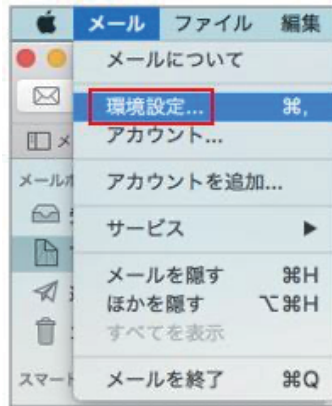


ご利用のPCのログイン情報を入力し[設定をアップデート]をクリックします。

注意:設定書の[ユーザー名][パスワード]ではありません。

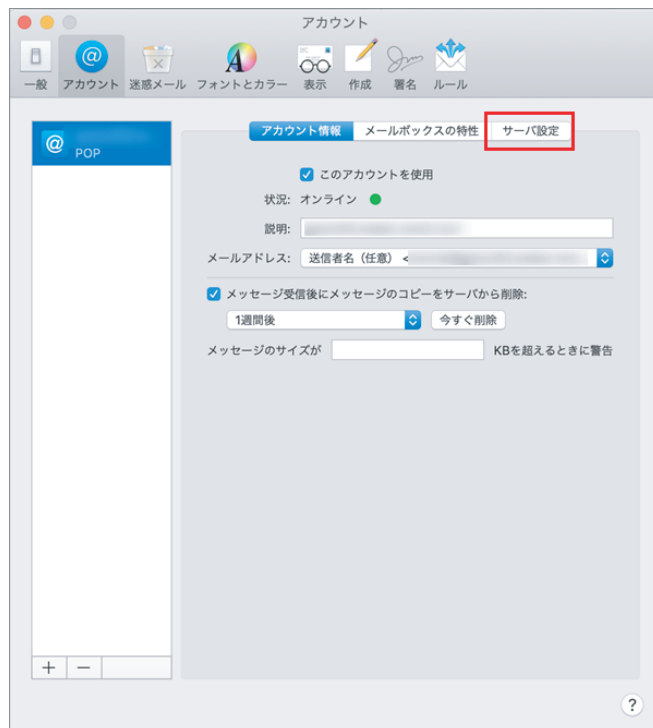


以上で、証明書の警告の対応は完了です。サーバーの設定に進みます。

**STEP5****[メール]メニューから[環境設定]をクリック****STEP6****アカウント情報**

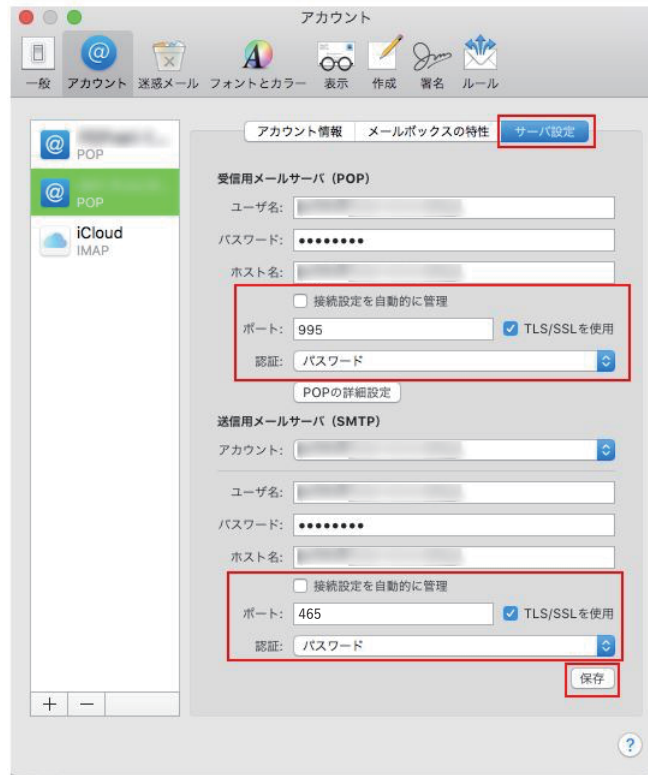
[アカウント]画面にて[アカウント情報]メニューをクリックし、受信メールサーバーの設定を変更します。

※1週間後にサーバーから削除される設定となっておりますので、受信後もメールをサーバーに残す場合にはチェックを外します。



## STEP7 サーバーの設定

[サーバ設定]メニューをクリックし、受信用メールサーバーおよび送信用メールサーバーの設定を行い、[保存]をクリックします



受信用メールサーバ(POP)	
接続設定を自動的に管理	チェックを外す
ポート	995
TLS/SSLを使用	チェックを入れる
認証	[パスワード]を選択

送信用メールサーバ(SMTP)	
接続設定を自動的に管理	チェックを外す
ポート	465(推奨)もしくは587
TLS/SSLを使用	チェックを入れる
認証	[パスワード]を選択

## STEP8 設定完了

以上で設定は完了です。送受信テストを行うことをお勧めします。

## STEP4 メールサーバー情報入力

### IMAP接続される場合の設定

メールサーバーなどを入力する画面が表示されますので、入力して[サインイン]をクリックします。

メールアドレス: example@example.com  
ユーザー名: example@example.com  
パスワード: \*\*\*\*\*\*  
アカウントの種類: IMAP  
受信用メールサーバ: imap.blue.shared-server.net  
送信用メールサーバ: mail.blue.shared-server.net  
アカウント名またはパスワードを確認できません。  
キャンセル 戻る **サインイン**

メールアドレス	設定するメールアドレス
ユーザー名	メールアドレスを入力
パスワード	メールアドレスのパスワード
アカウントの種類	IMAPを選択
受信用メールサーバ	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●imap.blue.shared-server.net または ●imap.red.shared-server.net
送信用メールサーバ	設定書に記載のいずれかのサーバー名 ●mail.blue.shared-server.net または ●mail.red.shared-server.net

### 証明書の警告が表示された場合

[サインイン]をクリック後に警告が表示された場合には、以下の手順をお試しください。

[証明書を表示]をクリックし、メールサーバ名を常に信頼する項目をチェックし[続ける]ボタンをクリックします。

メールは、サーバ「」の識別情報を確認できません。  
このサーバの証明書は無効です。「」に偽装したサーバに接続している可能性があり、機密情報が漏えいするおそれがあります。それでもこのサーバに接続しますか?  
? **証明書を表示** キャンセル 続ける

メールは、サーバ「」の識別情報を確認できません。  
このサーバの証明書は無効です。「」に偽装したサーバに接続している可能性があり、機密情報が漏えいするおそれがあります。それでもこのサーバに接続しますか?  
 「への接続時に」を常に信頼  
自己署名ルート証明書  
有効期限：2019年4月22日月曜日 13時07分54秒 日本標準時  
この証明書は「」によって信頼されているものとして指定されています  
▶ 信頼  
▶ 詳細な情報  
? **証明書を隠す** キャンセル **続ける**

ご利用のPCのログイン情報を入力し[設定をアップデート]をクリックします。

証明書情報設定に変更を加えようとしています。これを許可するには、パスワードを入力してください。

ユーザー名:

パスワード:

キャンセル

以上で、証明書の警告の対応は完了です。サーバーの設定に進みます。

## STEP5 サーバーの設定

[サーバ設定]メニューをクリックし、受信用メールサーバーおよび送信用メールサーバーの設定を行い、[保存]をクリックします。

アカウント

一般 アカウント 迷惑メール フォントとカラー 表示 作成 署名 ルール

アカウント情報 メールボックスの特性 **サーバ設定**

受信用メールサーバ (IMAP)

ユーザー名:

パスワード:

ホスト名:

接続設定を自動的に管理

ポート:   TLS/SSLを使用

認証:

IMAPの詳細設定

送信用メールサーバ (SMTP)

アカウント:

ユーザー名:

パスワード:

ホスト名:

接続設定を自動的に管理

ポート:   TLS/SSLを使用

認証:

### 受信用メールサーバ(IMAP)

接続設定を自動的に管理	チェックを外す
ポート	993
TLS/SSLを使用	チェックを入れる
認証	[パスワード]を選択

### 送信用メールサーバ(SMTP)

接続設定を自動的に管理	チェックを外す
ポート	465(推奨)もしくは587
TLS/SSLを使用	チェックを入れる
認証	[パスワード]を選択

## STEP6 設定完了

以上で設定は完了です。

### メールサーバー名(ホスト名)についてのご注意点

FORT CLUSTERでは、メールサーバー、FTPサーバーのSSL証明書の更新を行っておりますが、その際、ご利用のメールソフトの種類によっては、SSL証明書の内容確認を求めるポップアップ表示が発生いたします。

ポップアップが表示された場合、「次回以降もこの証明書を有効にする」等のボタンを押すことにより送信や受信は可能となります。